

「胞宮衝任病の鍼灸治療」

中医鍼灸 越智東洋はり院 越智富夫

「胞宮衝任病」は現代医学の婦人科疾患のことで、「胞宮病」と「衝任病」の二つを指している。今回、「胞宮衝任病」に関連する主な臓腑の働きと「胞宮衝任病の病院病機と主な症状、そして基本的な鍼灸治療についてご紹介する。

(1) 婦人科疾患と臓腑の関係

女性の生殖系統の機能は臓腑の機能が正常かどうかと密接な関係があるので、胞宮と衝脈・任脈の病変は、臓腑機能の失調や気血の失調によって引き起こされるか、外邪が直接、侵入するかである。下記に、胞宮衝任病と臓腑の関係についてまとめたので参考にしてほしい。

臓腑	主な機能	生理作用
腎	蔵精 主生殖 天癸の源 衝任の本	胞宮が胎児を養うのに係わる
	※腎気充実, 腎の陰陽平衡, 天癸分泌, 月経に変化, 胞宮は懐胎が可能となる	胞宮に至る, 衝任両脈通じ, 精血は胞宮に注入,
肝	蔵血 主疏泄 「肝は血海を司どる」	規則的な月経
脾胃	後天の本 気血生化の源	規則的な月経, 胎児を養う, 乳汁の分泌
脾	主統血	血の正常な運行
	※経, 帯, 胎, 産, 乳の生理は脾の機能と密接な関係	
胃	多気多血の腑 胃経は下行して衝脈と気街で会い, 血海を満たす。	「衝脈は陽明に隸属する」 「穀気が盛んであれば血海は満ちる」
心肺	主血 主気	気血は人体の一切の生理活動の物質的基礎
	※経, 帯, 胎, 産, 乳も血を本とし, 気を用とする	

(2) 胞宮病

胞宮は月経と胎児を育むことを主っており、その機能は腎気の盛衰、天癸の分泌の度合い、衝脈と任脈の気血の旺盛の程度と密接な関係がある。

病院病機	主な症状と治療方法
寒邪入裏, 寒が胞宮に凝滞, 胞脈が阻滞, 気血が失調	主な症状: 痛経〔月経痛〕, 閉経など。 治法は温宮行瘀で, 関元, 子宮, 次髎などのツボを取り, 先に瀉しその後で補法を施し, 刺針してから灸を行う。血海と三陰交は瀉法で刺針する。
湿熱が胞宮に蘊結	主な症状: 過多月経, 崩漏〔不正出血〕, 痛経, 有色の生臭い帯下, 陰部の瘙痒など。 治法は胞宮の清利湿熱で, 任脈, 帯脈および足厥陰肝経, 足太陰脾経の関係穴を主とし, 瀉法で刺針する。

(3) 衝任病

衝脈と任脈はどちらも胞中から起こり、衝脈は血海であり、任脈は胞胎を主っているので、月経の去来、胎児の懐胎、帯下の生成、乳汁の分泌などにいずれも重要な作用を果している。もし衝脈と任脈が直接ないし間接的に損傷して、両脈の機能が失調すると、多種多様な婦人科の病証が発生する。

病院病機	主な症状と治療方法
衝任不足で胞脈が養われなくなる	主な症状： 稀発月経，経血量の減少，閉経，流産，不妊など。 治法は 補益衝任，衝任両脈および足太陰脾経，足陽明胃経の関係穴を主とし，補法で刺針，併せて温灸を加える。
衝任不固で制約が無効となる	主な症状： 頻発月経，経血量の増加，崩漏，帯下，滑胎〔習慣性流産〕，子宮下垂・子宮脱など。 治法は 固摂衝任，衝任督三脈の腧穴を主とし，重補重灸法を施す。
衝任失調で月経が変調する	主な症状： 閉経，崩漏，痛経，月経前の乳房の脹痛など。 治法は 調理衝任，肝脾などの「背俞」穴および衝任両脈の腧穴を主とし，平補平瀉法で刺針する。
衝任が寒を受け，胞脈が阻滞し，血行が悪くなる	主な症状： 稀発月経，経血量の減少，閉経，痛経，産後の腹痛などの病症。 治法は 温通衝任，任脈と足太陰脾経，足陽明胃経の腧穴を主とし，瀉法で刺針，長い時間留針。 灸は艾条による雀啄灸がよい。
熱が衝任を擾して，血海が不寧となる	主な症状： 頻発月経，経血量の増大，経期の延長などの病症。 重症では崩漏になる。 実熱： 任脈と肝，脾両経の関係穴を主とし，瀉法で刺針。 虚熱： 任脈と足少陰腎経の関係穴を主とし，補法で刺針。
衝任不固で，帯脈が失約になる	主な症状： 帯下病や滑胎などが起こる。多くの場合，脾腎の虚と関連する。 脾虚： 治法は健脾束帯，帯脈，任脈および足太陰脾経の腧穴が主となる。 腎虚： 治法は固任束帯，任脈，督脈の関係穴を主とする。 補法で刺針，温灸を加えてもよい。